



特集1

ひゅ
うま
ん
通信

結成から 50年の歩み

ご存じですか？

人権教育推進委員協議会

「私たちの豊中市を、一日も早く差別のない明るい町にしなければ
ならない。」という思いから市民が立ち上げた豊中市人権教育推進
委員協議会(以下、人権協)。結成から50周年を迎え、さまざまな人
権問題に市民の立場で向き合い、人権を尊重することの大切さを
一人でも多くの市民に伝えるために活動している人権協の、これまで
の歩みを振り返り、これからを考えます。(社会教育課)



人権教育推進委員協議会のこれまで

結成の経緯

人権協は昭和45年(1970)に結成されました。きっかけとなったのは、その前年に豊中市民が、自分の子どもの結婚相手に関する身元調査依頼の手紙を和歌山県田辺市に出したことに始まります。

当時の市民の間に残っていた差別意識が浮き彫りになったこの出来事を発端に、「私たちの豊中市を、一日も早く差別のない明るい町にしなければならぬ」と思いを一つにした41人の市民が、人権協を立ち上げました。

50年のあゆみ

昭和45年(1970年)	4月	41人の市民により結成
46年	12月	世界人権デー 駅前啓発活動始まる
47年	9月	機関紙「じんけん」創刊号発行
48年	11月	人権教育をすすめる「市民の集い」を初めて開催
58年	10月	豊中市を人権擁護都市にする要望署名活動を展開
59年	3月	豊中市が人権擁護都市を宣言
60年	9月	「部落解放基本法」制定要求署名活動を展開
平成11年(1999年)	4月	豊中市が人権文化のまちづくりをすすめる条例を施行
令和2年(2020年)	4月	結成50周年を迎える

人権協の活動

委員数は約4,000人。市内の小・中学校区と、公立・私立高校、支援学校を含めた計69の地区で活動しています。

① 全体の活動

- 人権教育をすすめる「市民の集い」の開催
- 推進委員研修講座
- 基礎講座
- 世界人権デー(12月10日)の駅前啓発活動(令和2年度は中止)
- 機関紙「じんけん」の発行

② 地区研修

- 各地区委員会主催の研修

③ 地域の関係機関・

- 団体と連携した研修
- 公民分館人権学習講座
- 学校、PTAの保護者啓発講座

世の中の動きに合わせて 人権問題も変化

人権協結成当時の人権問題は、同和問題に関するものがほとんどでしたが、国際化やインターネットの普及などによって幅広い事柄が人権問題として浮き彫りになってきています。特に、インターネットやSNSが身近になった今日、名前も顔も知らない人からの誹謗中傷やトラブルが深刻化していることが問題だと感じます。時代の変化に合った新たな課題にも対応するため、人権協では日々情報収集に努め、研修会を行っています。

「人権」というと難しいと思われるがちですが、いじめや性的マイノリティー、虐待、障害のある人など、私たちの身近にいる人やさまざまなきこが人権と関わり合っています。こうした身近な人権問題や各地区委員会の世代を超えた交流などから出てくる、今考えるべき人権問題についての確に把握・理解し、解決に向けて取り組むことが私たち人権協の使命だと考えています。

時代の変化に合わせた人権問題の 解決に向けた取り組みを

副会長
渡邊美代子さん



気付きが 得られる大切な場

人権協の委員の多くは、PTAの役員経験者で、子育て世代の人を中心に構成されています。それぞれの仕事を持ちながらも、新しい話題提供に余念がなく、とても熱心でこちらが驚かされるほどです。自分一人では解決までたどり着くことができない課題でも、人権協の委員同士で共有することで気付きが得られたり新しい発見があったり、有意義な場となっています。また、校区単位で活動しているため、近くに暮らす人と交流するいい機会にもなっています。



私の身近にもあった人権

第十五中学校地区代表委員
河合満美さん

私が人権協の委員になったきっかけはPTAの役員になったことでした。最初は、人権問題という部差別の問題や外国人差別など自分とは縁遠いものだと思い込んでいて、人権協はそもそもどんな団体なのか、どんな活動をしているか全く分かりませんでした。

そんな中で、私は委員として子どもの人権がテーマの講演会に参加しました。その講演では、子どもに対して「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく」というのは子どもの人

権問題になると聞き、子育て中の私はハッとさせられました。同時に人権問題はとても身近にあるものだという事も気付かされました。

家に帰って小学生だったわが子に「こんなことはどう思う?」と聞いたこと、そのときの子どもの反応は今でも覚えています。その日から、日常生活でも人権について考えるようになりました。

人権協は約4,000人が委員として活動しています。人権について考えることは決して難しいことではありません。ぜひ若い人たちが「市民の集い」や人権を考える研修に参加し、人権を普段から考えることが当たり前の市民が多い豊中市になってほしいと思います。

年に一度行う「市民の集い」、そして12月10日の世界人権デーに合わせた駅での啓発活動など、私たちの活動を市が支えてくださっていることはとても心強いです。今後も、このつながりを生かして市全体で人権尊重の輪を広げたいと思います。また、学校や地域の活動を中心に世代を超えた人と人とのつながりを広げることによって、人権意識のより高いまちへとさらに進んでいけるのではないかと思っています。

市との連携があつてこそ



今までの方法にとらわれず
活動を進めていきたい

会長
島田忠雄さん

これまででは女性が多かった委員ですが、最近では男性が委員になったり市民の集いの参加者も若い人が増えてきたりと、年齢を問わず市民の中での人権意識の高まりをうれしく感じています。こういった意識の高まりは、世代を超えた視点からの意見交換や議論が行われることが期待できると思っています。また、さまざまな立場の人が活発に人権について考えることが、現代の複雑な人権問題に取り組むうえで非常に大切です。さらに、機関紙「じんけん」で情報発信を行っていますが、難しく捉えられがちな人権問題を、より身近に感じてもらえるような市民の立場からの情報発信は、人権協ならではの強みだと思います。これからは、この強みを生かしつつ、機関紙に加えてインターネットを活用した方法など、より積極的に情報を発信していきたいです。前例にとらわれることなく、皆さんがより深く人権のことを考えるきっかけを提供できればと思います。

これからの人権協

人権協から皆さんへのお知らせ

Event information

人権教育をすすめる
「市民の集い」を開催します

日時: 11月5日(木)13時~15時30分
場所: 文化芸術センター(曾根東町)
対象: 150人
内容: アーティスト・佐藤竹善さんと
ラジオDJ・池田なみ子さんによる人権を考える対談



当日、楽曲を披露する佐藤竹善さん

申し込み: 往復はがきに、代表者の住所と名前(返信用も)、催し名、電話番号、参加人数(2人まで)を書き、〒561-8501豊中市役所社会教育課 ☎6858-2580。10月22日(木)消印有効。抽選あり

人権教育推進委員に
なりませんか

人権協では、これからの活動をより充実させていくため、同委員になっていただける人を募集しています。興味のある人は下記事務局にご連絡ください。